

# おとずれ山の会 だより

第 10 号

森づくりを楽しみながら、自然と人の共生を考える

## 里山からの贈りもの 出展

6 月 9 日 市原市環境フェスタ

ヒノキのスツールや板材、サクラの花台、竹炭など、里山の間伐材を使った加工製品(“里山からの贈りもの”)を展示しました。今年は、「この木なんの木よく見る木」という樹木の名当てクイズを行い、参加者に木の葉のしおりを差し上げたところ、100 名以上の皆さんがチャレンジしてくれました。これからも「里山からの贈りもの」をお届けしたいと思います。



「樹木と葉っぱを正しく組

み合わせましょう。」好評だった名当てクイズ↑  
 “小さな燃料で大きな仕事”の「エコストーブ」には関心が集まりました。→



## 環境研究センターを見学 6 月 7 日

地質環境の調査等を行っている県の施設(稲毛)を見学しました(開放期間:6 月 7~10 日)。ちょうど風岡先生がお



られ、地球生成の歴史や地下水のありようなど貴重な説明をいただきました。

里山も私たちの暮らしもこうした土や岩石の上に築かれています。“にわか学生”になった私(事務局)は、「“地質学”を抜きにして“里山”は語れない。」なんて思ったことでした。

## けっこう難しいね~こいゃ

エコストーブ製作イベント 5 月 12 日



「エコストーブをつくってみよう」というイベントを開催しました。会場はジャックの森。6 組の皆さんがエントリーしてくれ、会員の小沼さんの指導で製作しました。「やってみるとなかなか難しい」といいながら、熱心

に作業を進めそれぞれ完成しました。終了後、お茶をいただきながら歓談しました。

## ハチトラップ仕掛けました

### 女王蜂含む数匹をゲット

ことは蜂の活動が活発との情報もあり、おとずれ山の会では初めてのハチトラップを仕掛けました。一週間たったところで見ると、オオスズメバチと思われる一団が入っていました。「やはり居たんだねー」と安堵したのが実感ですが、「ちょっと



かわいそう。」  
 「“大吟醸”はもったいないので次は料理酒でよいのでは..」などの感想も寄せられました。

~~~~~

編集・発行:おとずれ山の会 代表:高橋順子

連絡先:高橋和靖(事務局 携帯 090-4735-6504)

〒299-0257 千葉県袖ヶ浦市神納 2-23-22

Email:kjtaka@kba.biglobe.ne.jp

Blog:「おとずれ山の会」で検索し「ブログ」をクリックして下さい